



湖を中心として連なる美しい山容。高台の榛名湖荘(右端グリーン)の屋根からは、榛名富士や榛名湖が望める

5月15日に開校した榛名林間学校榛名湖荘。市内の全小学校の5年生が校外学習として自然体験を行う施設です。今回は、子どもたちを受け入れる榛名地域の皆さんと保護者、先生、施設職員を迎え、それぞれの立場から榛名湖荘への期待についてお話を伺います。

市長対談



榛名林間学校 榛名湖荘

高崎の宝・榛名山で育む
小学生の校外学習

市長 これまで本市では小学生の校外学習を新潟県柏崎の臨海学校で行っていましたが、私は、高崎の宝である榛名山を大事な子どもたちの教育の場として生かしたいと考えています。そんな折、東吾妻町が運営していた国民宿舎を、市が取得することができたんです。そこでこの建物を活用して、今年度から林間学校「榛名湖荘」として開校することになりました。子どもの頃に経験する泊りでの体験活動は一生忘れないものですし、自分の住んでいる古里に親しみを持ってもらえると思うんです。まず小林さんから伺いましょうか？

小林 榛名湖を中心に、外輪山が箱庭のようにコンパクトに収まっている、キレイな風景をどこからでも見られるところでしょう。

市長 極端に雪が多いというわけではないし、適度な過ごしやすさもありますよ。

小林 はい。湖の標高が1084mで、高崎の平野部とは1か月くらい気候が違う感じですよ。

市長 山崎さんはどういうところが榛名の魅力だと思いますか？

山崎 私は四季折々に花が咲き誇る「花の山」だと思います。春は、アズマイチゲやスマシレがたくさん咲いていますし、野鳥も多いですよ。



高橋 秀郎さん
榛名林間学校榛名湖荘次長。元国立那須甲子青少年自然の家職員。自然体験を行う施設での子どもたちの受け入れに豊富な経験を持つ。



柳田 修平さん
最初に榛名湖荘に入校する乗附小5年2組の担任教諭。入校に向けて子どもたちへの事前指導を行っている。



富岡 賢治市長
子どもたちに自分の古里を知ってもらうため、地域の協力を得ながら、まちの特色を生かした教育を行いたいと考えている。



山崎 行子さん
榛名湖畔で旅館を営む。榛名湖荘の食事の調理に協力する榛名湖町女性会のメンバー。自然に詳しく、休日に山歩きや散策などを楽しむ。



清水 幸子さん
高崎市PTA連合会の副会長。宮沢小学校PTA会長。小学6年生と高校生の2人の子どもを育てる母親。家族でよくキャンプに出掛ける。

市長 子どもたちが散策するときに花の近くを通るのでしょか？

山崎 そうですね。花が見られるコースもぜひ通ってもらいたいんです。散策中に休憩できるビジターセンターがあります。そこに花の写真を飾ってもらえるようお願いしています。

小林 オオヤマトンボやカブトムシもいます。朝になるとミヤマクワガタが網戸に付いたりもしますよ。

市長 そういった昆虫もこの辺りにいるんですね。子どもたちに花などの写真を撮ってもらって「ちびっ子写真コンテスト」のようなものをやったら面白いかもしれませんね。

身近な榛名の自然の中で 充実した体験メニュー

市長 高橋さん、子どもたちはここでどんな活動をするんですか？

高橋 基本のコースとしては、榛名神社からの登山、キャンプファイア、みんなでカレーを作る野外炊飯の3つです。今後は野外炊飯のメニューを自分たちで考えてもらってもいいですね。早朝に朝霧の中を散歩したいという学校もあります。星空もすごくきれいで、榛名湖荘でしかできない体験をしてほしいですね。

市長 朝、太陽が昇るところや満天の星空を眺めると、子どもたちは、勉強のやる気が出るんですよ。これは以前、私が教育研究所にいたときの調査結果です。ところで、神社からの登山は、

すてきなんです。
市長 こういった野外活動を指導する準備も大変でしょう。
柳田 昨年度から子どもたちへの指導を始めました。榛名は身近だけど意外と知らないことも多く、子どもたちがすごく興味を持ってきています。
市長 榛名を知ってもらいたい機会になりますね。清水さんはPTAのお立場として感じることは？
清水 保護者の皆さんは、今年度から始まる林間学校に興味をお持ちです。実は私も登山道を歩いてみたんです。最後の天神峠の上り坂が大変でしたけど、上りきると榛名富士と榛名湖が目の前にパッと開けて、その景色を見た瞬間に疲れが一気に抜けました。
市長 確かにその光景は魅力的です。子どもたちが榛名で体験学習することで、保護者の皆さんにも親しみを感じてもらえそうですね。

地元をあげて子どもたちを応援 盛り上がる地域の活力

市長 ここでの食事は、できるだけ地元食材を使って、地元の人によってもらいます。山崎さん、お手伝いいただく皆さんの様子はいかがでしょうか？

山崎 はい。張り切っていますよ。地域の婦人会に声を掛けるときもみんな「やりませう」と言ってくれました。100人単位の食事は作ったことがないからと、自分たちで進んで勉強して

どのくらいかかるものですか？
高橋 子どもの足で休みながら2時間くらいです。市と県で登山道を整備していただきましたし、達成感のあるちょうどいいハイキングができると思いますよ。榛名神社では、宮司さんに歴史などの説明をしてもらえることになりました。

市長 それは良いですね。でも登山の途中で疲れてしまいうもいるんじゃないですか？

高橋 子どもたち自身が準備して臨むので大丈夫だと思います。私が以前勤めていた施設では、子ども同士が支え合うような光景が自然と生まれていました。

市長 自然と助け合いの気持ちが生まれるんですね。さて、入校第一号は乗附小です。柳田さん、先生方は榛名湖荘での体験学習をどのように考えていますか？

柳田 子どもたちが求めているものは何かと思います。アンケートを取ったんです。その結果、海は家族で行ったことが多くて、一番近い山には行ったことがないことが分かりました。今回登山が初めてという子どもも結構いるので、とてもいい体験になるのではないかと期待しています。

市長 それはうれしいですね。先生方も子どもたちと登山を？
柳田 はい。私たちが登山道の下見をしました。自然にできたとは思えない岩の積み重なりがあったり、木々の力強さを感じられたりと景色がとても

くれて。私自身も励まされました。今は自信满满です。
市長 それはありがたいですね。地元食材としては何を使いますか？
山崎 ワカサギと梅干しです。ワカサギはつくだ煮で、まるごと食べられてカロリー的にもいいんですよ。
市長 なるほど。小林さん、地元の皆さんの反応はいかがでしょう？
小林 やっぱり女性に張り切ってもらえると男性も引張られて元気になりますよ。なんと高崎で生まれた人が一生のうち1回、小学生の時に必ず榛名湖に来てもらえるんですから、これは地域への励ましになります。地域全体が活性化しますね。
清水 地元の方々のお気持ちや、施設の人たちの楽しそうなお話を伺うと、保護者としても子どもたちが笑顔で活動しているのが想像できますよ。自分たちで考えて活動する、榛名湖荘での体験学習は、子どもたちにとっていい思い出になると思います。
市長 そうですね。自分の住んでいる古里を見つめ直すことは、今の教育で一番大切なことです。榛名湖荘での体験を通して、子どもの頃から地域の魅力に触れれば、必ず古里に親しみを持ってもらえるようになりますよ。子どもたちが良い体験ができるよう、皆さんの協力をいただきながら進めていきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。本日はお忙しいところありがとうございました。

一同 ありがとうございます。